

事業名 高機能ハトムギエキスを加えた新しい「はとむぎ茶ゴールド(仮称)」の製造・販売

連携体
 中小企業者：(株)JAアグリひみ(製造業)、(株)CRD(サービス業)
 農林漁業者：氷見市農業協同組合
 連携参加者：(株)ペルブリッジ、NPO法人代替医療科学研究センター、ニッケービバレッジ(株)

サポート機関等 地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(株)JAアグリひみは、氷見市農協とともに、同農協が米作転作物としてハトムギ栽培を推奨している中、地域産のハトムギを用いたハトムギ製品の開発に取り組んできた。地域農業の更なる発展のためには高付加価値のハトムギ製品の開発が急務との考えにより、医学的にも証明された安全で健康に良いハトムギエキスに着目し、ハトムギの研究に強みをもつ金沢大学発ベンチャーの(株)CRDと連携し、本事業に取り組むこととなった。



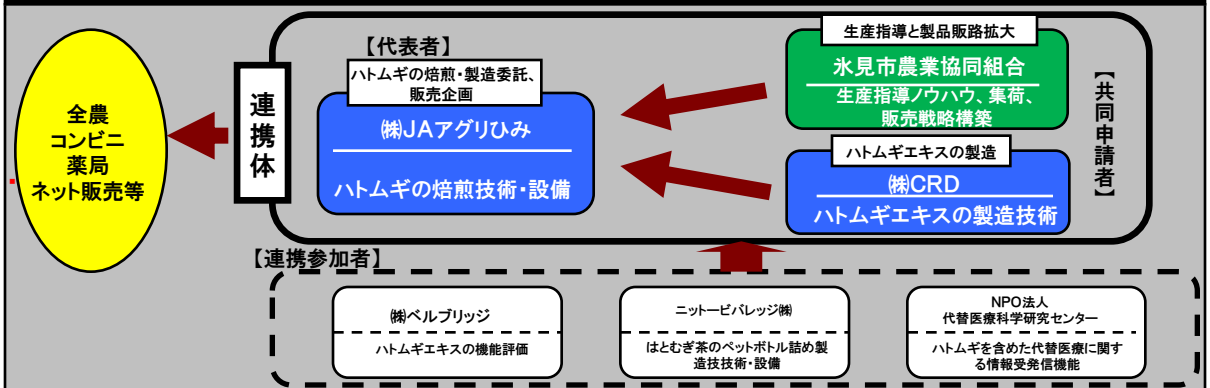
ハトムギ ハトムギの実

◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

従来製品の「はとむぎ茶」は、平成20年には100万本超の販売見通しであり、確実な成長を遂げている。焙煎技術の向上によりハトムギの食味を大幅アップさせるとともにハトムギエキスならびに葉酸、ビタミンB6、ビタミンB12の添加により、薬効が相乗的に向上した健康飲料としてのブランド化を図り、連携体を持つ販売チャネルを有効に活用して販売力を強化する。



連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の売上高・・・1.1億円(平成23年度)
- ◆地域の特産としてのハトムギのブランド力を高める
- ◆地域のハトムギ生産の増大に貢献
- ◆ハトムギの機能性の認知度を拡大

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):株式会社JAアグリひみ (富山県氷見市加納840-1)
- ◆電話番号:0766-74-8735
- ◆FAX番号:0766-74-8736
- ◆ホームページ:<http://www1.cnh.ne.jp/jahimi/>

地域 富山県 氷見市 認定日 平成20年9月19日 通巻番号 4 - 20 - 005

事業名 氷見の海からできたワイン生産及び関連商品開発・販売

連携体
 中小企業者：(株)釣屋魚問屋(製造業)、(有)シーフード北陸(販売業)
 農林漁業者：(株)T-marks(農業)、(有)日の出大敷(漁業)
 連携参加者：

サポート機関等 高岡商工会議所(高岡、氷見経営力向上支援センター)、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(株)T-marksは耕作放棄地を利用してブドウを栽培しワイン醸造する事業を企画し、地域の有力な魚問屋である(株)釣屋魚問屋が、肥料用の魚粉とワインにあった魚料理を提供することとした。さらに魚粉は廃棄されていた雑魚を有効利用することとし、それを(有)日の出大敷の定置網に求めることとした。新製品の販売には大手デパート等へ固有のチャンネルを構築している(有)シーフード北陸と連携することにより事業の推進力が増したものである。



ワイン用ブドウの栽培状況

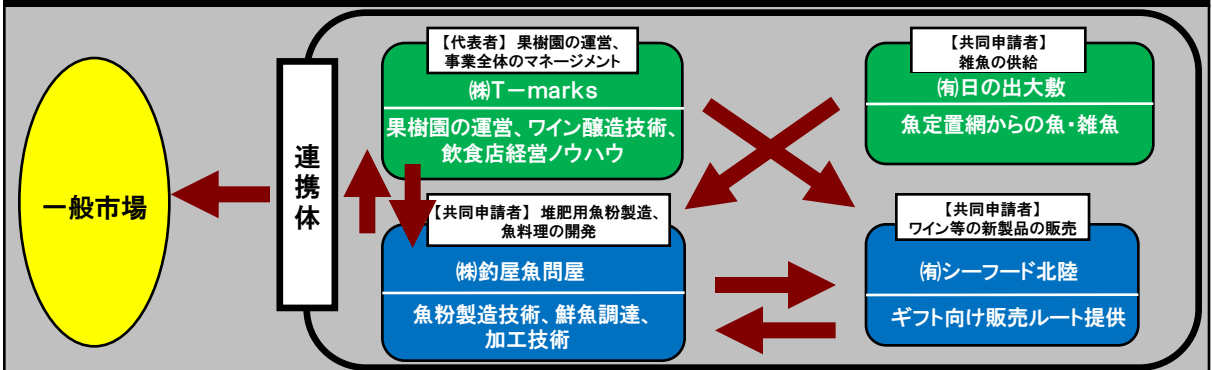
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

従来は価値がないため廃棄されてきた雑魚を肥料に加工し、ワイン用ブドウの栽培に役立てる。地域ブランドである魚を活かして、新たに醸造したワインに合う料理や新製品を開発することで、ワインを新たな氷見ブランドとすることで、今まで以上に域外からの集客効果が高まり、地域経済活性化にもつながるものである。



ワイナリーイメージ図

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆新商品の販売額総計約2.1億円(25年度)
- ◆氷見の魚ブランド力向上とともに、新たにワインブランドを構築
- ◆県外からの年間集客は約4万人を予想
- ◆耕作放棄地(13ヘクタール)の有効活用
- ◆近隣の観光資源との相乗効果を生み出す

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):株式会社T-marks (富山県氷見市中央町8-24)
- ◆電話番号:0766-72-4500
- ◆FAX番号:0766-72-4501
- ◆E-mail:info@t-marks.co.jp
- ◆ホームページ:http://www.t-marks.co.jp/